

コ ー ス	歯科医療体験実習 (EarlyExposuretotheClinicalExperience)		
学年・期・単位	第2学年・前期・1単位	科目担当責任者	荒川 浩久 (健康科学講座口腔保健学分野・教授)
オフィスアワー	木曜日17:00~18:00	メールアドレス	arakawah@kdcnet.ac.jp
一般目標 (GIO)	歯科医師としての基本資質と姿勢はなにかを理解する。そのために行動科学を基礎として介護の現場を体験し、職業意識、態度を習得する。さらに研究体験を通じて研究マインドを高めるとともに科学的思考力を身につける。		

ユニット	一般目標 (GIO)
1. 歯科医療科学総論	履修科目の意義を理解する。
2. 行動科学 (心理学)	心理学の研究対象としての行動とその生理的基礎を理解し、コミュニケーション技法を習得する。
3. 介護体験準備実習	高齢者・障害者福祉施設などの介護体験の準備として必要な理論と技術を習得する。
4. 介護体験実習	高齢者・障害者福祉施設などによる介護体験を通じてコミュニケーション能力を適用する。
5. 科学研究実習	神奈川歯科大学で行われている様々な研究活動に参画することにより論理的思考方法を習得する。
6. 発表実習	体験した事を発表することを通じて他者への伝達能力を習得する。

評価法 (EV)
出席状況 (40%)、レポート (30%)、担当教員評価 (30%) と受講態度 (減点) による総合評価。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/7	歯科医療科学総論	1. 科目の意義を説明できる。 2. 歯科医師として必要な学習項目を説明できる。 3. 各ユニットの意義を説明できる。 4. 各ユニットの行動計画を説明できる。	パワーポイントと配布資料による講義。	荒川浩久 槻木恵一	
2						
3	4/14	行動科学 (心理学)	1. 行動と心的活動との関係を概説できる。 2. 歯科患者とのコミュニケーションのとり方を説明できる。	パワーポイントと配布資料による講義。	横田雅実 (招聘講師) 荒川浩久 玉置勝司 広川晃司 (非常勤講師) 中嶋恵美子 (非常勤講師)	B-2-1)-①②
4			1. 行動の生理的基礎を概説できる。 2. 高齢者とのコミュニケーションのとり方を説明できる。			
5	4/21	介護体験準備実習	1. 摂食・嚥下の仕組みを説明できる。 2. 摂食・嚥下の評価法を説明できる。	パワーポイント、ビデオと配布資料による講義。	宮城敦 荒川浩久 広川晃司 (非常勤講師) 中嶋恵美子 (非常勤講師)	F-4-3)-①～⑦
6			1. 口腔ケアの意義を説明できる。 2. 口腔ケアの実際を説明できる。			
7	4/28	介護体験準備実習	車椅子を扱うことができる。	車椅子、高齢者擬似体験道具を使用して実習する。多様なコミュニケーションの取り方をロールプレイする。	宮城敦 口腔保健学教室員全員 三好代志子 中村ミゲル (医員) 森田鮎美 (医員) 伊藤愛 (医員) 広川晃司 (非常勤講師) 中嶋恵美子 (非常勤講師)	F-4-3) ①～⑦
8			1. 高齢者の筋力、視力の低下などを体験できる。 2. 高齢者とのコミュニケーションの取り方を説明できる。			
9	5/12		1. 高齢者の口腔機能の評価の意義を説明できる。 2. 高齢者の口腔機能の評価方法を説明できる。	口腔機能評価を互いにロールプレイで実習する。	広川晃司 (非常勤講師) 中嶋恵美子 (非常勤講師)	F-4-3) ①～⑦
10			1. 高齢者の口腔機能の評価ができる。 2. 口腔機能の評価結果をまとめることができる。			
11	5/19		1. 高齢者の口腔ケアの意義を説明できる。 2. 高齢者の口腔ケアの方法を説明できる。	口腔ケアの実際をロールプレイで実習する。		F-4-3) ①～⑦
12			1. 高齢者の口腔ケアができる。 2. 可撤性義歯の清掃ができる。			

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
13 ~ 24	5/26	介護 体験 実習	1. 介護施設の概要を説明できる	2日間にわたり介護施設を訪問し、与えられた課題を実習する。3日目は体験内容を振り返り、反省点と改善点をまとめる。2班に分かれてローテーションする。	荒川浩久 石井裕美 高野知子 荒川秀樹 川村和章 宋 文群 黒羽加寿美 (歯科衛生士) 久保田友嘉 (歯科衛生士)	B-1-2)-⑤ B-2-1)-①②
	6/2 6/9 6/16 6/23 6/30		2. 介護施設における食事の工夫を説明できる。 3. 介護施設における摂食介助と口腔ケアを説明できる。 4. 障害をもつ高齢者の特徴を説明できる。 5. 高齢者とコミュニケーションをとることができる。			
		科学 研究 実習	1. 学術論文の検索方法を説明できる。 2. 学術論文の構成を説明できる。 3. 体験した研究手法を説明できる。 4. 体験した研究の意義を説明できる。 5. 歯科医療における研究の意義を説明できる。	教員との対話形式での解説と討論、実験を実施する。 2班に分かれてローテーションする。	槻木恵一 佐藤一芳 三好代志子 窪田展久 笹栗健一 猿田樹里 阿部 智 山本龍生 木本一成 高橋常男 東 一善 杉山朋久 河田 亮 久保田英朗 小野塚実 水野潤造 下山和夫 (非常勤講師) 生駒祥恵 (技術員) 根岸秀幸 川瀬俊夫 山田良広 山本伊佐夫 大平 寛 浜田信城 熊田秀文 渡辺清子 石川恵理子	B-1-2)-⑤ B-1-4)-④
25	7/7	発表 実習	体験した内容をまとめることができる。	体験した内容をまとめる。発表媒体とレポートを完成させる。	荒川浩久 槻木恵一 他	B-1-2)-②③
26	7/7					
27	7/14		体験した内容を媒体化することができる。	体験した内容をまとめる。発表媒体とレポートを完成させる。	荒川浩久 槻木恵一 他	B-1-2)-②③
28	7/14					
29	7/21		体験した内容を発表することができる。	体験内容を発表し討論する。	荒川浩久 槻木恵一 他	B-1-2)-②③
30	7/21					